

# JUNCTION



## CONTENTS

国際交流センター紹介	2
九州産業大学派遣留学案内	3
平成 27 年度派遣留学生紹介	4
派遣留学生体験記	5
交換留学生紹介(受入れ)	6
交換留学生体験記(受入れ)	7
留学生会から新入生のみなさんへ	8
留学生の四季	9
日本語弁論大会	10
日本文化研修	11
平成 27 年度国際交流の歩み	12

# 国際交流センター紹介

Information from KSU Center for International Affairs

## 国際交流センターとは

国際交流センターは、大学の国際交流を進展させ、多くの学生及び外国人留学生在が大学の制度・環境を利用して世界への見識を深め視野を広げることで、人生をより豊かなものにするを目的としています。主な業務は、派遣留学や留学相談の受付、大学に在籍する外国人留学生在の在留生活上のサポート、外国の大学・教育機関との教員・学生間交流、留学生在行事の開催など様々な取組みを行っています。



場所：中央会館2階  
時間：9時00分～16時30分（月～金）  
9時00分～12時30分（土）

## 留学を目指している方、必見！

国際交流センターでは留学に関する雑誌・各種パンフレットなどを自由に閲覧できます。

また、留学に関する相談も随時受け付けています。派遣留学や私費留学についてアドバイスをしますので、留学に興味がある方、派遣留学制度について詳しく知りたい方は、ぜひお越しください。



## 国際交流センターには、様々な情報がいっぱい

国際交流センターからのお知らせは、中央掲示板と国際交流センター懇話室内の掲示板に掲示しています。国際交流行事や留学生在との交流行事、派遣留学関係など様々な情報を掲示していますので、定期的にチェックしてください。

また、外国人留学生在を対象とした履歴書やエントリーシートの書き方、面接試験の受け方など、就職活動に必要な書籍も貸し出していますので、ぜひ活用してください。



## 展示スペースには海外のお土産や記念品がいっぱい

国際交流センターの展示ケースには、中国や韓国をはじめ、イギリスやフランスなど協定校からのお土産や記念品を展示しています。展示物の中には、中国の茶器や韓国の仮面劇のお面、民族衣装、文房具、遊具など珍しい品々が取り揃っており、他国の伝統、芸術、文化等を楽しむことができます。



## 国際交流センターには留学生在との交流のチャンスが！

現在、九州産業大学には500人を超える外国人留学生在が在籍しています。留学生の多くは中国からの留学生ですが、その他に韓国、ベトナム、ネパール、バングラデシュ、インドネシア、ミャンマー、インド、モンゴル、イタリアなど様々な国から留学生在が来ています。



国際交流センターには毎日多くの留学生在が来ており、留学生と話す機会を容易に持つことができます。国際交流や異文化交流、語学に興味のある方はぜひ国際交流センターにお越しください！

## 留學生チューター制度“TOP”

### ◆チューター制度って何？

留學生チューター制度“TOP”は、大学に在籍する外国人留學生が学生生活をスムーズに送れるように、日本人学生が学習面や生活面のサポートをする制度です。チューターに登録した日本人学生は、年間を通じて開催される留學生関連のイベントへ参加することができ、また相互学習をしながら語学力を伸ばすこともできるので、双方にメリットがあります。

### ◆どんな行事に参加できるの？

国際交流センターや留學生会等が主催する行事で、バーベキューや日本文化の体験など、通常は留學生しか参加できない行事に参加することができます。詳しくは留學生の四季(9頁)をご覧ください！

毎年4月に募集を開始しますので、異文化交流に興味があり、留學生と交流したい方はぜひ“TOP”に登録してください！



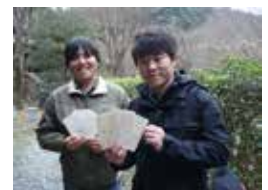
日本文化研修



インターナショナルスポーツフェスティバル

## 留學生チューター制度を経験して

やまもと じゅんや  
山本 純也さん  
商学部第一部観光産業学科4年  
出身高校：広陵高校（広島県）



本人写真

このチューターを通していろいろなことを経験し、学ぶことができました。最初はどのように話したらいいかわかりませんでしたが、音楽や映画について喋ると会話が盛り上がり仲良くなりました。海外に興味があり留學生の地域のことや食べ物などについて聞いていたら行きたくくなりました。ぜひ、今度行こうかなと考えています。

国際交流センターではいろいろなイベントがあり、秋に行われるバーベキューパーティーで様々な国の友達と喋ったり遊んだりしました。そして日本文化研修では、日本では当たり前ですが海外では当たり前ではない事があり文化の違いを学びました。

外国に行ってみたい方や興味のある方は留學生のチューターをしてみたいかがですか！

## 国際交流センターホームページ

国際交流行事や留學生会行事、派遣留学に関する情報などをホームページで紹介しています。内容は随時更新していますので、ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.kyusan-u.ac.jp/J/international/>





# 九州産業大学派遣留学案内

## Guide of Studying Abroad

九州産業大学では、経済学部、商学部第一部・第二部、経営学部、国際文化学部の学部生を対象とし、8月から翌年1月までの約6ヵ月間（派遣先大学により前後します）、派遣留学生として交換留学協定校に学生を派遣しています。また、芸術学部の学部生を対象に芸術文化交流を目的とした交換留学制度があり、ドイツへは10月から翌年2月までの約5ヵ月間、フランスへは隔年で10月から12月までの3ヵ月間、学生を派遣しています。（※交換留学協定校については平成28年4月現在）

### 文系学部 交換留学協定校



アメリカ アビリン・クリスチャン大学  
http://www.acu.edu/



イギリス リーズ・ベケット大学  
http://www.leedsbeckett.ac.uk/



イギリス オックスフォード・ブルックス大学  
http://www.brookes.ac.uk/



フランス リール・カトリック大学  
http://www.univ-cathoilille.fr/



中国 中国人民大学  
http://www.ruc.edu.cn/

### 芸術学部 交換留学協定校



韓国 東国大学校  
http://www.dongguk.edu/



韓国 東亜大学校  
http://ent.donga.ac.kr/



ドイツ シュトゥットガルト造形美術大学  
http://www.abk-stuttgart.de/



フランス ボルドー美術学校  
http://www.ebax.fr/

### 派遣留学生になるには？

#### 1. 留学フェア・派遣留学報告会に行こう！

国際交流センターでは、留学フェアや派遣留学報告会を開催しています。実際に留学した先輩の話を聞いたり、疑問点を質問したりと、留学実現に近づくための第一歩です。漠然と留学について考えている人も、まずは気軽に参加してください。各イベントの日程についてはK's Life や掲示板でお知らせしています。

#### 3. 派遣留学募集説明会に行こう！

派遣留学説明会では、選考試験のスケジュールや内容、奨学金、派遣先の大学の最新の情報などをお知らせします。興味のある人はぜひ参加してください。

#### 2. 語学力に磨きをかけよう！

派遣留学生として留学するためには、願書の提出に加えて、選考試験を突破しなければなりません。各選考試験は下記のとおりです。早め早めに学習を始めれば、必ず結果はついてきます。少しずつ、語学力アップに向けて取り組んでみましょう。

#### 4. 願書提出～選考試験（書類審査・語学試験・面接）

派遣留学願書を提出した後、派遣先に応じた選考試験があります。（イギリスの大学に留学を希望する場合は、願書提出までに IELTS スコアを取得しておくこと ※参照）出願資格がある限り何度でもチャレンジできます。学生の間だけのこのチャンスを利用して、ぜひ留学を実現させてください。

### 平成29年度派遣留学選考内容等（予定）

対象学部	国	大学	派遣期間（予定）	選考内容
経済学部 商学部第一部 商学部第二部 経営学部 国際文化学部	アメリカ	アビリン・クリスチャン大学	平成29年8月～平成30年1月	書類選考・TOEFL ITP・面接
	イギリス	リーズ・ベケット大学	平成29年8月～平成30年1月	書類選考・IELTS スコア 4.5 以上*・面接
	イギリス	オックスフォード・ブルックス大学	平成29年8月～平成30年1月	書類選考・IELTS スコア 5.0 以上*・面接
	フランス	リール・カトリック大学	平成29年8月～平成30年1月	書類選考・フランス語筆記試験・面接
	中国	中国人民大学	平成29年8月～平成30年1月	書類選考・中国語筆記試験・面接
芸術学部	韓国	東国大学校	平成29年8月～平成30年3月	書類選考・韓国語筆記試験・面接
	韓国	東亜大学校	平成29年8月～平成30年2月	書類選考・韓国語筆記試験・面接
	ドイツ	シュトゥットガルト造形美術大学	平成29年10月～平成30年2月	書類選考・TOEFL ITP・面接・作品審査
	フランス	ボルドー美術学校	平成29年10月～平成29年12月	書類選考・TOEFL ITP・面接・作品審査

※セクションごとに必要なスコアの条件があります。詳細は国際交流センターまで。

# 平成 27 年度派遣留学生紹介

## KSU Exchange Students



平成 27 年度派遣留学許可書交付式

<p>アビリン・クリスチャン大学 (アメリカ) 平成 27 年 8 月～平成 28 年 1 月</p>  <p>しんめい りな 新兎 颯</p> <p>国際文化学部国際文化学科 4 年 玉名高校</p>  <p>きはら りえ 梶原 緑</p> <p>国際文化学部国際文化学科 2 年 鹿兒島高校</p>  <p>たかはし わかこ 高橋 和佳子</p> <p>国際文化学部国際文化学科 2 年 福岡工業大学付属城東高校</p>	<p>リーズ・ベケット大学 (イギリス) 平成 27 年 8 月～平成 28 年 1 月</p>  <p>ささき ななみ 佐々木 育美</p> <p>国際文化学部国際文化学科 3 年 玄海高校</p>			
<p>オックスフォード・ブルックス大学 (イギリス) 平成 27 年 8 月～平成 28 年 1 月</p>  <p>まくらま りな 横間 希奈</p> <p>国際文化学部国際文化学科 3 年 第一学院高校</p>  <p>やました ゆうき 山下 優輝</p> <p>国際文化学部国際文化学科 2 年 大年田高校</p>	<p>リール・カトリック大学 (フランス) 平成 27 年 8 月～平成 28 年 1 月</p>  <p>くさか つばさ 日下 飛翔</p> <p>国際文化学部国際文化学科 2 年 糸島高校</p>  <p>くめさか しゅんぺい 組坂 俊輔</p> <p>国際文化学部国際文化学科 2 年 古賀竟成館高校</p>			
<p>中国人民大学 (中国) 平成 27 年 8 月～平成 28 年 1 月</p>  <p>かわの りな 河野 璃奈</p> <p>経済学部経済学科 4 年 慶成高校</p>  <p>まつもと しほ 松本 詩歩</p> <p>経営学部国際経営学科 3 年 君松高校</p>	<p>東国大学校 (韓国) 平成 27 年 8 月～平成 28 年 3 月</p>  <p>でいざわ かおり 出水 香夏</p> <p>国際文化学部国際文化学科 3 年 音住丘高校</p>  <p>ふくだ あおい 福田 彩音</p> <p>国際文化学部国際文化学科 2 年 福岡大学付属若葉高校</p>	<p>東亜大学校 (韓国) 平成 27 年 8 月～平成 28 年 2 月</p>  <p>さいとう あやか 齋藤 綾香</p> <p>商学部第一部観光産業学科 4 年 博多女子高校</p>  <p>すゑみつ ちあき 末廣 ちあき</p> <p>国際文化学部国際文化学科 3 年 小倉西高校</p>	<p>シュトゥットガルト造形美術大学 (ドイツ) 平成 27 年 10 月～平成 28 年 2 月</p>  <p>のなか りょうけい 野中 隆之介</p> <p>芸術学部美術学科 3 年 高校卒業後短期大学 大学入資格試験</p>	<p>ボルドー美術学校 (フランス) 平成 27 年 10 月～平成 27 年 12 月</p>  <p>しばた ちか 柴藤 千夏</p> <p>芸術学部デザイン学科 3 年 柏陵高校</p>

### 「留学を終えて」



やました ゆうき  
山下 優輝

国際文化学部国際文化学科 2 年  
派遣留学先：オックスフォード・ブルックス大学 (イギリス)



2015年度九州産業大学派遣留学生に選ばれ、2015年9月からイギリスのオックスフォード・ブルックス大学に留学をしました。初めての長期留学で、初めてのイギリスということもあり、不安もありましたが期待のほうが大きかったです。

オックスフォードに着き、最初の1週間はオリエンテーション期間がありました。そこで、授業の進み方、課題の進め方、近くのスーパーはどこにあるかなどの説明がありました。その期間中に Japanese Society という日本人や日本に興味のある外国人などが参加するサークル活動のパーティーがありました。そこで知り合ったイギリス人や日本人とは今でも連絡を取るなど交流が続いています。オリエンテーション期間中に友達ができただけで、その後の学習にとって大いなる手助けとなりました。

授業が始まると、日本とは違う授業スタイル、課題の多さに圧倒されました。しかし時間が経つにつれ、それらにも慣れていき、課題も短時間で終わらせることができ、授業内容の理解度も次第に上がっていききました。そこで一番助けてくれたのがクラスメイトでした。日本人、中国人、サウジアラビア人からなるクラスで、年齢も宗教も母国語も違うなかでクラスが一つにまとまり、お互いに助け合うことができました。母国語は違うけれど英語という共通言語があったからこそ、深い関係を築くことができたため、英語を勉強していたことに強い喜びを感じました。

休日は、クラスメイトや現地の友人などと遊ぶことが多かったです。中国人のクラスメイトが中華料理を作ってくれ、よくパーティーを開いていました。そこで授業や課題に関する相談や、お互いの母国語を話題に充実した時間を過ごすことができました。また、時々バブに行くことがあり、そこで現地の人や他の留学生とお酒を飲み交流することもありました。授業外での交流は、プレッシャーがないため楽しく英語を学習でき、それとともに異文化交流もできるため積極的に参加をすることが必要だと感じます。

授業やテストが終わり、イギリスに1ヵ月滞在し、行くことができていなかった場所を観光しました。クリスマス前にウェールズの首都、カーディフヘクラスメイトと行き観光をしました。ウェールズの看板や掲示板などは英語とウェールズ語で書かれていて、まるでイギリスではないかのようでした。クリスマスはウスターシャーの友人のところにホームステイし、人生初の七面鳥を食べ、クリスマスディナーを楽しみました。日本ではクリスマスと言えばカップルのイベントですが、イギリスではアメリカと同様に家族のイベントです。暖炉を囲みクリスマスソングを聞いてプレゼントを家族で開けるとい、ホームステイでしか体験できないことができ、非常に良い経験となりました。年末はクラスメイトとロンドンへ行き、ロンドンアイの前でのカウントダウンイベントに参加しました。イベントのあとの路上には、日本では見たことのないごみの多さでショックを受けました。年が明け、観光地であるバースへイギリス人の友人と行きました。建物の雰囲気がローマのようで、ここでもまたイギリスではないように感じました。まだ、多くのエリアには行けてませんが、ロンドンとオックスフォードがイギリスのすべてではないと実感することができ、数か所でもいくつかの違ったエリアに行くことは大切だと感じました。

留学で得るものは自分はどうその留学に対して真剣か、何を目標とするかによって変わります。留学へ行く前に自分が何をしたいか、何を達成したいかを考えてみてください。きっとそれが充実した留学につながると思います。

# 派遣留学生体験記

## Outbound Exchange Program

### 「フランスで見つけたたからもの」



しばた ちあき  
柴藤 千夏  
芸術学部デザイン学科3年  
派遣留学先：ポルドー美術学校（フランス）



石畳の上に一歩を踏み出したとき、どうして来ちゃったと思った。2年間夢見てきた外国の地に住むことができるのだ。私は2015年の10月1日から、派遣留学制度を使い3ヵ月間フランスのポルドーで暮らした。ポルドーはフランスの南西部に位置し、ワインでとても有名な地域だ。世界遺産に登録されているこの街は古い建造物が建ち並び、そこを歩くと中世ヨーロッパにタイムスリップしたような気持ちになる。

日本を発つ前私の心は不安な気持ちでいっぱいだった。しかしそんな気持ちも数日でどこかへ消えていくこととなる。

ルームメイトと一緒に学校へ行き多くの友達を紹介してもらった。フランス人は"salut"という挨拶と一緒にビズをする。ビズとは頬を合わせてキスをするのだ。友達であれば同性、異性関係なくビズをする。最初はとても戸惑ったがそれも自然と慣れてくる。フランス語はもちろん英語も上手に話せない私はとても不安を抱いていた。しかもフランス人はあまり英語を話さないのだ。とてもクールなフランス人はフランス語を話さない私に声をかけてくれることはほとんどなかった。しかし、大学3年間留学生と交流していたこともあり、なんとか友達を作ることができた。

なかなか解決できなかった問題は、授業である。先生は英語でも説明してくれるが、私の英語力が未熟なため理解できていないことが多かった。留学先のEBABX\*という学校では、1週間にひとつ課題が出される。進行の早いものは、水曜日の午前中に課題内容が説明され、午後には中間発表がある。次の日にはモデルを提出し、その次の週には作品を提出しなければならなかった。そのため間違えて理解をするについて行けなくなるのだ。また自分の作品について明確に説明しなければならなかった。“なんとなく”や“かわいかったから”などが通用しないのだ。“どうしてここにこの写真をおくの？右にずらしたらダメ？”“どうしても緑じゃないとダメなの？”といった日本ではほとんど考えなかったことをズバズバと質問してくる。悩んでいると先生は他の生徒のところへ行ってしまふ。留学生だからといって特別扱いなどはほとんどなかった。私の作品をみて“あなたの作品はただかわいいただけね”とどの先生も言った。ついて行けない上に否定ばかりされ悩むことも多かった。そんなときいつも助けてくれたのがそこで出会った友人達だった。先生が私の作品を否定したときは、みんなが私の代わりに説明してくれたり、その作品の良いと思うところを一生懸命伝えたりしてくれた。悩んでいる

と、「話してみなよ」といつも耳を傾けてくれ、沢山のアドバイスをくれた。また、何をやっていいかわからず課題についていけなくなり、家で作業することが増えた時期もあった。そのときに友人が先生のところへ話に行き、私の事で2人が言い争いをしていた光景は今でも忘れられない。

社交辞令などの習慣があまりないフランスでは、仲良くない人との関わりはあまりないが、友達になると自分のことのように助けてくれた。見て見ぬ振りをしていない彼らの行動に私はとても感動し、羨ましいとさえ思った。

私の留学の目的の一つに、フランス人に日本を好きになってもらおう、というものがあつた。なぜなら、日本で出会った留学生たちが、彼らの母国の魅力を沢山私に教えてくれたからだ。フランス人の多くが日本に興味を持っている。漫画やアニメ、映画など日本の文化が大好きだ。しかし、日本人の友達を持っている人は少なく、間違えた情報が溢れている。彼らは日本人が今でも切腹すると思っていたり、ネット上で紹介されている、鶏を追いかけて回しながら歌う日本人風のおじさんがフランスでは有名だったりする。私にはそのおじさんもその歌詞も理解することができなかったが。

それらの間違えを訂正し、日本のことについて沢山話した。また日本食のパーティも開いた。お味噌汁や白米、いくつかのおかずを用意し、紙皿や紙コップも日本から持参したものを使い、部屋中を可愛くデコレーションした。フランスには無いかわいという文化と、日本食をみんなが気に入ってくれた。そして、5人の友人が今、日本に来る計画を立てている。友人達も日本を好きになってくれたが、私もフランスがとても好きになった。

私は今、また外国に行きたいと考えている。なぜなら世界中に友人がずんでいるし、海外での生活がとても楽しかったからだ。高校生の時まで私はbe動詞がなんなのか知らなかった。しかし大学に入り、たくさん外国人と出会い、海外に行ってみたくという気持ちを持ち続けた結果、今回交換留学に行かせてもらえることができた。私はこの機会に心から感謝している。

もし、あなたが今留学したいと考えているのであれば、その気持ちを持ち続け、一歩踏み出せば留学は夢ではないと私は思う。

“Take a chance you never know what might happen.”

\*EBABX - École d'Enseignement Supérieur d'Art de Bordeaux

### 留学フェアを開催しました！

平成27年度は7月と11月に2号館円形ホールで留学フェアを開催し、合計で約550名の学生が来場しました。

今年度の留学フェアでは、会場に派遣留学生が留学先で撮影した写真や留学情報などを常設展示し、留学サポート会社によるセミナーや留学相談、派遣留学報告会を行うとともに、本学の外国人留学生から学ぶ外国語コーナーも設けました。さらに、外国語コーナーでは、7月には名刺を、11月にはグリーティングカードをそれぞれ外国語で作成しました。

来場した学生は、留学という同じ目標を持った友人との出会いや、外国人留学生との交流の機会が持てたようです。





## 交換留学生紹介 (受入れ)

Exchange Students from Partner University

平成27年度は交換留学生5名を九州産業大学で受け入れました。



ドゥ ジンヒョク  
杜 眞赫 (韓国)  
協定校: 東国大学校  
受入学部: 商学部第一部  
受入期間: H27.4-H28.2



パク キョンリョン  
朴 卿良 (韓国)  
協定校: 東亜大学校  
受入学部: 商学部第一部  
受入期間: H27.4-H27.8



ジョン  
鄭 ビヨリ (韓国)  
協定校: 東亜大学校  
受入学部: 商学部第一部  
受入期間: H27.4-H27.8



オウ ハク  
王 博 (中国)  
協定校: 中国人民大学  
受入学部: 国際文化学部  
受入期間: H27.9-H28.2



アドリアーノ バルトロツィ  
Adriano Bartolozzi (イタリア)  
協定校: オックスフォード・ブルックス大学  
受入学部: 国際文化学部  
受入期間: H27.9-H28.8



### 交換留学生が通訳として交流事業に参加しました!

本学商学部の「『道の駅』を通じた日韓文化交流」事業が、外務省が実施する「JENESYS2.0」(韓国との間の招へい・派遣事業)に採択され、韓国の忠南大学校を受入れた際、杜眞赫さんは通訳としてこの交流事業に参加しました。



ドゥ ジンヒョク  
杜 眞赫  
協定校: 東国大学校 (韓国)  
受入期間: 平成27年4月～平成28年2月

私は平成27年12月16日から22日まで、日韓文化交流で福岡県の岡垣町・八女市、東北の松島・石巻・南三陸、東京に行き、各地域の道の駅を訪ねました。それぞれの道の駅の特徴や強み、事情などを聴いて、普段は休憩をするための場所としか認識していなかったところが、地域活性化に役立つということ、また、地元の住民の方々が道の駅を作るまでのエピソードを聞いた時は地元を興すための懸命な努力が伝わってきました。通訳をしながら地理や政策などの専門的な領域にも踏み入るので苦労しましたが、普段からニュースを見ていたことが役に立ちました。

韓国の大学生も道の駅に並んでいる地元の商品には関心を持ち、一般の休憩所とは違う



道の駅にて (本人写真左から2番目)



豆腐作り (本人写真右)

韓国にはない施設だったため学生たちは目新しさを感じていました。

道の駅だけでなく、有名観光スポットである松島や南三陸での豆腐作り、また各家庭に分かれてホームステイをし、地元の方々とも親睦を深める機会になりました。私にとっても地元の方々と交流する機会は珍しく、大変価値のある経験になりました。

一般的に観光は名所を見に行くことが定番で地域と交流する機会はあまりありません。しかし、このプログラムは観光と地域との交流を同時に体験できるので日本を深く知る大変有意義なプログラムでした。

## 交換留学生体験記 (受入れ)

Experience of Studying at KSU



パク ミョングラン  
朴 卿良  
協定校: 東亜大学校 (韓国)  
受入期間: 平成27年4月～平成27年8月

私は2015年度前期に韓国の東亜大学校から九州産業大学へ交換留学生として来た朴卿良と申します。東亜大学校で派遣された学生は私を含め2名で、4月6日に福岡に着きました。私は学校から10分ぐらい離れている交換留学生宿舎で生活をしました。一人暮らしにしては広い部屋だったので最初は少し怖かったです。しかし、広いからこそ友達を招待してパーティーをしたり、一緒に料理を作ったりして修学旅行に来たような日々を過ごすことができました。

私は商学部に入り、日本の流通や商学の全般について勉強しました。そしてゼミに入り、本当の日本の大学生活を経験しました。韓国にはゼミというのがないのですごく新鮮で楽しかったです。日本人の友達と一緒に発表の準備をし、それ以外にも親睦のための体育大会、ボーリング大会、誕生日パーティーなど、思い出がたくさんでき、日本の生活がますます楽しくなりました。それから、日本語を使う機会も多かったので日本語の実力も上がりました。以前は意識しないと聞こえなかった日本語が今は自然に聞こえるようになり、博多弁にも慣れて、友達と話している時、思わず自分が博多弁を使ってしまうのが笑った記憶もあります。

私は日本に来るとき、三つの計画を持っていました。一つ目は勉強をおろそかにしないこと。遊ぶために来たわけではないのでしっかり専攻の勉強をするように目指しました。日本語で専門科目の授業を聞くのは難しかったですができる限り復習をし、自分なりに勉強をしたので専門分野の知識を得ることができました。そして韓国で学べる機会がなかった流通を学び、こ



ゼミ仲間と



の分野にもっと関心を持つことで将来は流通の仕事をしてみたいと思うようになりました。

二つ目は色々な人に出会うこと。国籍に関係なく様々な人に出会うことで自分の視野を広げられると思いました。それで様々なイベントに参加し、特に学校で留学生と行ったハウス・テンボスや博多で行われるパルク・ワークのボランティアへの参加などで、異国の文化や日本人の優しさを学ぶことができました。そして、九州産業大学には韓国に興味がある学生さんも多かったことで互いの言語の交流もできすごく楽しかったです。

三つ目は自己啓発。今まで一人で旅行に行っていたことがなくて自分の新しいチャレンジとして5月に一人で東京に行きました。最初から最後まで全部自分で準備したので一つ一つが記憶に残っているし、大切な思い出になりました。そして、韓国にいるより一人での時間が多くて未来について考える機会が多かったです。自分がどこに向いているかを考えたり、それに対する本を読んだり、情報を探したりしながら自分を知ることができました。今留学生生活を振り返ってみると、この三つの計画を全部クリアできた気がしてすごく嬉しいです。

4年生という負担や日本での一人暮らしの不安もあり、交換留学を迷ったときもありました。しかし、今考えてみれば本当に九州産業大学に来てよかったし、私の大学生活の中で一番の思い出になりました。短い間でしたが、毎日が濃い時間で楽しかったです。良い人たちに恵まれ無事に留学を終わらせることもできて幸せです。これから社会に出て留学の経験がたくさんの力になると思います。九州産業大学大好きです。ありがとうございました。

## 先輩留学生からの声 Voice from a senior exchange student



カタギリ アン レイチェル  
片桐 晏 Rachel  
協定校: アピリン・クリスチャン大学 (アメリカ)  
受入学部: 国際文化学部  
受入期間: 平成26年4月～平成26年9月



### ①現在はどこでどのような仕事をしていますか？

私は現在、中国全土の中国人英語教師の育成や教育技術の向上を目的として設立された、北京に本社を置く米国NGO組織で、ファシリテーター(研修プログラムの進行役)としての仕事をしています。

ファシリテーターを務めている研修プログラムは、通常、2週間という短いプログラムで、この短い時間を一緒に過ごしたただけなのに、時として参加者から、「あなたは私の人生の見方を変えてくれた・・・ありがとう」と言ってもらえることは、本当に「ブライストレス」です。

### ②九州産業大学に交換留学しようと思ったきっかけは何ですか？

大学1年生の時に、私の母校(アピリン・クリスチャン大学)へ、交換留学生として来ていた九州産業大学の学生と友達になったことがきっかけで、是非、アピリン・クリスチャン大学から九州産業大学への初の交換留学生となって、大学生活の一部を、日本で過ごしたいと考えたからです。

### ③九州産業大学での留学はどのように活かされていますか？

留学中に受講した中国語の授業を土台とし、帰米した年の夏に、ヴァーモント州にある大学付属語学学校で、引き続き中国語を学びました。この経験が今現在、私自身が操ることの出来る中国語コミュニケーション能力へとつながっています。また、留学中に知り合った数々の人々との交流こそ、現在の自分の柔軟的思考を養ってくれたものと思います。

留学準備中、そして留学中に最も心に刻んだことは、たとえ誰かに「できない」と言われ、くじけそうになっても、自分の計画や目的を決めて諦めないことです。私は諦めなかったからこそ、九州産業大学において、アメリカ側からの初めての交換留学生として学ぶという夢を実現することができました。これからも、抱いた夢を諦めることなく、頑張っていきます。

### ④日本の一番好きなところ(場所・もの)を教えてください。

人々の素晴らしい、優しさです。日本での生活に慣れたら、日本よりいい国はないだろうと言えるほどです。どのようなお店、施設に行ってもサービスは良く、みんな礼儀正しく、行儀が良いことに感心しました。これらは、「人間として当たり前の事だ」と思われがちですが、日本とは異なる国に住んでみて、初めてそれらの価値に気が付きます。

### ⑤将来の目標について教えてください。

世界の架橋となることです。今の世界は、戦争や差別・偏見に代表される、様々な醜い事柄で溢れています。こうした世界で、自分がアメリカと日本の両方にルーツを持つ人間として生まれたことを誇りに思い、中国、そして世界中の人たちへ、「人間は人種や肌の色に関係なく、皆一人一人が同じように大切な存在である」ということを、これからの自分の人生を通じて、多くの人々に伝えたいと思い、またそれを実現、実感することができるような仕事をしたいと思っています。

## 留学生から新入生のみなさんへ Greetings from International Students Union

新入留学生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

みなさんは故郷を離れ、それぞれの夢や希望を持って日本へ留学し、九州産業大学に入学したと思います。大学への入学は新たな人生の第一歩とってください。

大学へ入学しても、最初はどちらが分らないかも知れません。まずは日本語をしっかり勉強し、きちんと単位を取ってください。それは学生としての義務です。

そして、自分の趣味や好きなことを何か一つ、とことん深く追求してみてください。結果を問わず、目標を決めて充実した大学生活を送ってください。

私たち留学生会はみなさんが力を発揮できる舞台を準備しています。大学では、日本語弁論大会、香椎祭での模擬店出店、異文化交流行事、日本文化研修など様々なイベントがあります。これらの行事は、各国の人々と交流し、異文化に触れることのできる良いチャンスです。

また、留学生が学生生活をスムーズに送れるように、日本人学生が学習面や生活面のサポートしてくれる『チューター制度』があります。この制度を活用して積極的に行事へ参加し、留学生同士だけでなく、多くの日本人学生と友人になって、みなさんの大学生活を有意義なものにしてください。

また、他国から来た留学生との交流や、その文化に触れることで自分の考えや自国の文化以外にも、多くの考え方や文化があることが分かります。その経験は自分の視野を広げ、成長に繋がると思います。

一生懸命頑張ってみなさんが人生の目標を実現できるよう、心より祈っております。



平成27年度 留学生会役員一同

### ネパール地震被災者を支援するための募金活動を行いました。

九州産業大学留学生会は、平成27年4月25日(土)にネパールで発生した大地震による被災者を支援するための募金活動を4月から5月にかけて行いました。留学生に加え、有志の日本人学生も参加し、学内の各食堂へ募金箱の設置を行ったほか、昼休みには1号館1階メインホール付近にて募金活動を行いました。

また、ネパール人留学生を中心にJR香椎駅前でも募金活動を行いました。多くの方の温かいご支援のおかげで、670,636円の義援金が集まりました。集まった義援金は、日本赤十字社「2015年ネパール地震救援金」窓口を通じて被災地に送られました。



1号館1階メインホールにて



JR 香椎駅前にて

### 学生紹介



プリパラス(ネパール)  
芸術学部美術学科3年

表面に色をあてることにより生み出されるものが絵画という芸術です。また、感情や考えを表現する方法であり、単純にその美しさを楽しむこともできます。絵画は人や場所、オブジェクトの肖像を捉えたものであると同時に、イベントを記録することもできます。そして、絵画は世代を越えて伝えられるメッセージでもあります。私は、絵画という芸術は国を表現するものだとも思います。

私の子供の頃の夢は、芸術活動を通じてネパールの発展に貢献することでした。そして、私はその夢を抱いたまま、日本へ、そして九州産業大学へ留学しました。この大学には勉強のチャンスが数多くあり、私もそのチャンスを利用して芸術の勉強をしてお



作品タイトル「Earthquake」



作品展会場にて来場者と

り、日々絵画の作成に没頭し、機会があるごとに作品展も開催しています。

芸術では、ネパールなど様々な集合や個の美しさを表現しています。なにより、私は多くの画家の中でも、私の個性を発揮できるように努力しています。

私は将来、母国ネパールで芸術の教師になりたいと思っています。この大学での勉強は、そのための知識を数多く与えてくれています。さらに、勉強以外にも多くのサポートをいただいています。感謝の気持ちを忘れずに、これからも夢の実現のために頑張ります。



# 留学生の四季

Quarterly Journal of International Students

本学では12カ国578人（平成27年5月1日現在）の留学生が、遠く故郷を離れ、それぞれの夢や目標に向かって勉学に励んでいます。留学生同士、日本人学生、地域住民の方々との親睦を深めるため、本学では、留学生会が組織されており、様々な交流活動を実施しています。

4



留学生会定例総会 4月23日



・・・日本人チューター参加可能行事

5



在留生活指導会  
5月15日



新入留学生懇談会  
5月15日



新入留学生歓迎バスハイク  
5月24日



インターナショナルスポーツフェスティバル  
5月31日

6



サッカー大会 6月6日



7

8

9

10



バーベキューパーティー  
10月3日



千早並木グローバルフェスティバル  
10月17日



立花山ハイキング  
10月24日

11



香椎祭 11月1日-3日



12



立花寮卓球大会  
12月5日



日本文化研修 12月6日



留学生日本語弁論大会  
12月19日

1

2

3



留学生送別会 3月16日



# 日本語弁論大会

## Japanese Speech Contest

### 日本語学習の成果をスピーチに込めて!

平成27年12月19日(土)に「留学生による日本語弁論大会」が開催されました。今年で8回目を迎えた日本語弁論大会では、14人の留学生が発表を行いました。今回の弁論大会では、留学生活での体験や自国の紹介と日本との違い、そして将来の夢など、様々なスピーチを聞くことができました。来場者は、留学生ならではの体験談や苦労話に聞き入り、会場は感動や笑いが生まれ大いに盛り上がりました。

今回は数ある発表の中から、「やさしい声」をテーマにスピーチし、最優秀賞を受賞した王 博(オウ ハク)さんの発表を紹介します。



### 「やさしい声」

初めての飛行機、初めての海外渡航、今年の9月2日、私はドキドキしながら、一人で日本に来ました。それから、半年間の留学生活が始まりました。

飛行機を降りた私は建物の中に入りました。迎えに来てくれた方と会えるかと思ったら、入国の手続きにずいぶん時間がかかりました。ロビーに自分の荷物だけが残されていました。誰もいません。どこへ行けばいいのか迷いました。さっきのワクワクする気持ちは完全に不安に変わりました。「ずいぶん遅れてしまったけど、国際交流センターの方は私を待っていてくれるかな」というか、「どこにいるんだろう」「中国の携帯も使えないし、どうしよう」と悩んでいると、後ろから「王さんですか。王さんは若いから、すぐわかりましたよ。会えてよかったね」という優しい声が聞こえました。その優しい声は私を不安と恐怖から救い出しました。本当に感謝しています。

次の日、在留手続きと国民健康保険の手続きをすることになりました。付き合ってくれたのは中国に交換留学して帰ってきた日本人の学生です。二人で歩きながら、何か話さないといけないと思って、一生懸命日本語を使って彼女に話しかけました。でも、なかなか日本語が出てきません。その時、彼女は私の困っている様子を見て、「日本語に疲れたら、中国語でいいよ」と優しく言ってくれました。日本語だけで一日を過ごした私にとって、本当に助かりました。「我

#### 最優秀賞

オウ ハク  
王 博(中国)  
国際文化学部交換留学生



昨天磕磕巴巴说了一天日语，都快憋死我了」と一気にしゃべりました。ところが、彼女の反応がありません。それで、また日本語に戻りました。ですが、中国語を話したおかげで、気持ちがとても良くなりました。彼女の優しさがとても嬉しかったです。このように、私は、二人の優しい声に助けられました。

実はその二人だけでなく、それから優しい声をたくさん聞きました。

一見、厳しそうですが、挨拶してくれた警備員さんの「おはようございます」という優しい声、いろいろなところに連れて行ってくれて、普段だったら、割り勘にするはずの日本人の友達の「いいよ、いいよ、私おごるよ」という優しい声です。そういった声は私の寂しくて不安な心を温めてくれました。日本に留学して、日本人に会って本当に良かったと思います。私もいつか自分の優しい声で日本人を助けたいと思います。

### 日本語弁論大会発表者

#### 最優秀賞



オウ ハク  
王 博(中国)  
国際文化学部交換留学生  
「やさしい声」



バールハタイ アハフアン  
帕尔哈提 阿力甫江(中国)  
経営学部国際経営学科2年  
「慣れの力」



リン モンテイ  
林 静婷(中国)  
商学部第一部観光産業学科1年  
「ちゃんぽん?シャボン?」



Ngo Thi Nhung  
Ngo Thi Nhung(ベトナム)  
経営学部国際経営学科1年  
「世界中で一番優しい男性」



パン ヨン  
潘 勇(中国)  
経営学部産業経営学科3年  
「留学生の将来は」

#### 優秀賞



リ ショウパイ  
李 小平(中国)  
国際文化学部国際文化学科3年  
「日本の『狩り』」



シュウ エイ  
周 頌(中国)  
商学部第一部観光産業学科1年  
「私、トランプじゃない」



ディ リウ  
迪力努 阿迪力(中国)  
国際文化学部日本文化学科1年  
「現代日本の家族」



チン ヘイシウ  
鄭 丙秀(中国)  
経営学部国際経営学科3年  
「急がなくていいんだよ」



Subedi Krishna Hari  
Subedi Krishna Hari(ネパール)  
経営学部国際経営学科1年  
「自分の夢」

#### 審査員特別賞



Bui Thi Phuong Nham  
Bui Thi Phuong Nham(ベトナム)  
経営学部国際経営学科2年  
「日本語の美しさ」



ヘイン ビエ ヒョウ  
Hein Pyae Phy(ミャンマー)  
経営学部国際経営学科2年  
「日本人って冷たいな!」



アドリアーノ バルトロッチ  
Adriano Bartolozzi(イタリア)  
国際文化学部交換留学生  
「私の国について」



リ カイ  
李 夏蕙(中国)  
商学部第一部商学科2年  
「中国の春節と日本の元旦」

### 懇親会

例年、弁論大会終了後には発表者と来場者の懇親会を開催し、交流の機会となっています。また、ベトナム出身の留学生にはお国自慢料理として「生春巻き」を作っていました。普段口にすることのない料理を堪能することができ、来場者からも絶賛の声をいただきました。



懇親会の様子



お国自慢料理「生春巻き」



# 日本文化研修

## Japanese Cultural Tour

平成27年12月6日(日)に「日本文化研修」を実施しました。  
 今回は留学生と日本人チューターの計35名が山口県を訪れました。  
 山口市内では、洞春寺山門や観音堂、瑠璃光寺などを観光し、重源の郷で日本文化体験をしました。日本文化体験では茅葺き屋根の工房で『藍染め・竹細工・紙すき』に挑戦し、日本の歴史や伝統文化に触れることができました。竹馬にも挑戦し、体を動かしながら楽しむことができました。  
 また、道の駅『仁保の郷』にも立ち寄り、有意義な一日となりました。



昼食時の様子



瑠璃光寺・五重塔にて



重源の郷にて

### 日本文化体験

#### 藍染め

日本の伝統の藍染めを体験し、自分だけのオリジナルコースターを作りました。初めての体験に、寒さを忘れて楽しんでいました。



#### 竹細工

日本の伝統的なおもちゃである「竹とんぼ」を作りました。細かい作業でみなさん集中していましたが、完成すると外に出て夢になって竹とんぼを飛ばしていました。



#### 紙すき

紙すきでは「溜め漉き」と呼ばれる方法で、とてもきれいなハガキを作りました。材料となる植物や作業工程なども詳しく説明していただき、学生も真剣に取り組みました。



#### 竹馬

初めて体験する学生が多く、乗ることも苦労でしたが、徐々にコツをつかみ楽しんでいました。体を動かしながら、日本の伝統文化に触れることができました。





# 平成 27 年度国際交流の歩み

## The Chronicle KSU International Exchange in 2015

平成 27 年度は以下の国際交流協定校等と学生・教職員の受入れ・派遣を行いました。  
この学生交流・教員交流・学術交流を通して、友好の絆はますます深まりました。  
なお、平成 27 年度の主な国際交流実績は、以下のとおりです。


### 受入れ





忠南大学校経営大学との学生・教員交流





蔚山大学校デザイン・建築融合大学との学生・教員交流


 サイプレス大学言語学部 (アメリカ)  
日 程：平成 27 年 5 月 27 日 (水)～6 月 18 日 (木)  
目 的：学生間交流・学習・九州での文化研修・交流  
受 入：学生 10 人・教員 1 人


 チュンナン  
忠南大学校経営大学 (韓国)  
日 程：平成 27 年 6 月 22 日 (月)～6 月 26 日 (金)  
目 的：学生・教員交流のため  
受 入：学生 16 人・教員 2 人


 リカ  
梨花女子大学校経営大学 (韓国)  
日 程：平成 27 年 7 月 9 日 (木)～7 月 13 日 (月)  
目 的：学生・教職員交流のため  
受 入：学生 9 人・教職員 2 人

 中国人民大学外国語学部 (中国)  
日 程：平成 27 年 7 月 17 日 (金)～7 月 19 日 (日)  
目 的：教員交流のため  
受 入：教員 1 人

 ウルサン  
蔚山大学校デザイン・建築融合大学 (韓国)  
日 程：平成 27 年 7 月 24 日 (金)～8 月 2 日 (日)  
目 的：学生・教員交流、学生交流作品展、集中講義受講  
受 入：学生 41 人・教員 2 人

 上海工程技術大学芸術設計学部 (中国)  
日 程：平成 27 年 8 月 5 日 (水)～8 月 12 日 (水)  
目 的：学生・教員交流、撮影研修  
受 入：学生 38 人・教員 5 人


 セッコウエッシュョウ  
浙江越秀外国語学院東方語言学院 (中国)  
日 程：平成 27 年 8 月 6 日 (木)～8 月 20 日 (木)  
目 的：学生交流のため  
受 入：学生 5 人


 トンソ  
東西大学校デザイン学部 (韓国)  
日 程：平成 27 年 8 月 27 日 (木)～8 月 29 日 (土)  
目 的：学生・教員交流のため  
受 入：学生 37 人・教員 3 人


### 派遣




上海工程技術大学芸術設計学部との学生・教員交流

 上海工程技術大学芸術設計学部 (中国)  
日 程：平成 27 年 9 月 6 日 (日)～9 月 10 日 (木)  
目 的：学生・教員交流及び撮影研修のため  
派 遣：学生 13 人・教員 2 人


 中国人民大学外国語学部 (中国)  
日 程：平成 27 年 10 月 31 日 (土)～11 月 4 日 (水)  
目 的：教員交流のため  
派 遣：教員 2 名


 チュンナン  
忠南大学校経営大学 (韓国)  
日 程：平成 27 年 10 月 31 日 (土)～11 月 4 日 (水)  
目 的：学生・教員交流のため  
派 遣：学生 16 人・教員 2 人

 リカ  
梨花女子大学校経営大学 (韓国)  
日 程：平成 27 年 11 月 2 日 (月)～11 月 5 日 (木)  
目 的：学生・教員交流のため  
派 遣：学生 33 人・教員 2 人



梨花女子大学校経営大学との学生・教員交流

 トンソ  
東西大学校デザイン学部、  
ウルサン  
蔚山大学校デザイン・建築融合大学 (韓国)  
日 程：平成 28 年 2 月 18 日 (木)～2 月 20 日 (土)  
目 的：教員交流のため  
派 遣：教員 3 名

 サイプレス大学言語学部 (アメリカ)  
日 程：平成 28 年 2 月 20 日 (土)～3 月 13 日 (日)  
目 的：学生・教員交流のため  
派 遣：学生 10 名・教員 1 名

### 今号の表紙

国際交流センター報のタイトルになっている JUNCTION(ジャンクション)とは、連絡点、接合点、交差点の意味があることから、人と人との交流を大切にしたいとのコンセプトに基づき、命名されました。

今号の表紙は、リーズ・ベケット大学 (イギリス) に派遣留学した佐々木育美さん (本人写真左) が、現地の友人たちと一緒に撮影した写真をメインに掲載しています。その他、派遣留学生が現地で撮影した写真を掲載しています。

編集・デザイン / 芸術学部デザイン学科 向野 奈津美  
渡邊 佳奈

発行 / 九州産業大学国際交流センター  
〒 813-8503 福岡市東区松香台 2-3-1  
TEL (092)673-5588 FAX (092)673-5611

注)掲載している職名及び学生の学年は平成 27 年度のものです。